

平成23年11月11日

杉並区議会議長
藤本 なおや 様

医療問題調査特別委員会
委員長 中村 康弘

医療問題調査特別委員会活動経過報告書

医療問題調査特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成23年9月22日 報告聴取

2 活動経過

以下のとおり5件の報告を聴取した後、質疑応答を行った。

(1) 特定保健指導の実施状況（平成21年度分）について

積極的支援における特定保健指導対象者数は1,673人、利用者割合は6.7%であり、動機付け支援における特定保健指導対象者は3,412人、利用者割合は8.5%であったとのこと。

(2) 平成23年度特定保健指導の実施事業者の選定結果について

保健指導プログラムや実施場所の選択肢を増やすことによって利用率の向上を図るため、新規実施事業者を公募型プロポーザル方式で新たに1事業者選定した。

選定事業者は株式会社保健教育センター、委託内容は未利用勧奨も含んだ特定保健指導業務であり、積極的支援と動機付け支援の両方を行うこととし、平成23年9月から特定保健指導を開始するとのこと。

(3) 在宅医療相談調整窓口の相談実績について

本年7月1日開設時から8月31日までの相談実績は、実数で66件、延べ77件であり、ほとんどが電話による相談であった。

相談者は家族や本人のほか、ケアマネージャーやケア24などの関係者

からの相談もあったとのこと。

(4) 立正佼成会附属佼成病院の移転について

杉並区まちづくり条例に基づく土地利用構想の届出が提出され、住民説明会開催日等が確定した。

土地利用構想の基本方針は、杉並区の地域中核病院として免震化して新築・移転し、その際、周辺環境等についても十分に配慮する。

住民説明会は、9月29日19時から20時30分まで、立正佼成会大聖堂1階大聖ホールで行う予定で、開催周知チラシを関係各戸へ配布する。

土地利用構想縦覧期間は9月13日から10月4日まで、縦覧後10月11日まで意見書提出が可能であるとのこと。

(5) 浴風会病院の改築について

築後35年を経過し老朽化が著しく、また耐震性を向上させるため、現在の病院を改築し、併せて、国の制度改正による今後の介護型療養病床の廃止に対応するため、老人保健施設を併設整備する。

病院部分の改築において、一般病床は140床から150床、療養病床は160床から100床、うち介護療養病床は108床から0床となり、新築で老人保健施設100床を併設する。

今後の予定は、平成25年3月着工、平成26年7月竣工、平成27年1月開設であるとのこと。

以上